

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第65期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 丸大食品株式会社

【英訳名】 MARUDAI FOOD CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 百 濟 徳 男

【本店の所在の場所】 大阪府高槻市緑町21番3号

【電話番号】 072-661-2518

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 加 藤 伸 佳

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区築地四丁目7番5号

【電話番号】 03-3524-8787

【事務連絡者氏名】 東京支店 岡 村 廣 志

【縦覧に供する場所】 丸大食品株式会社東京支店  
(東京都中央区築地四丁目7番5号(築地K Yビル))  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社大阪証券取引所  
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第2四半期 連結累計期間	第65期 第2四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (百万円)	100,596 (51,196)	103,080 (52,711)	204,127
経常利益 (百万円)	3,380	1,866	6,123
四半期(当期)純利益 (百万円)	2,734 (1,432)	918 (541)	3,933
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	2,600	708	4,740
純資産額 (百万円)	66,263	67,828	68,309
総資産額 (百万円)	118,841	124,455	124,357
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	21.05 (11.03)	7.07 (4.17)	30.28
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.4	53.2	53.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	5,222	3,784	8,328
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,198	3,303	6,077
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,821	1,584	3,537
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	13,784	11,190	12,295

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 売上高、四半期純利益及び1株当たり四半期純利益金額の(括弧)の数値は、四半期連結会計期間(3ヶ月)の数値であります。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として回復基調にありましたが、景気の先行きにつきましては、欧州の景気後退や新興国経済の足踏み等からくる世界景気の下振れリスク、円高の長期化などにより不透明な状況が続いております。

加工食品事業におきましては、デフレ、雇用不安の影響などによるお客様の節約志向の浸透や商品の低価格化などから引き続き厳しい環境が続いております。また、食肉事業につきましても、国産牛肉の相場については、やや回復の兆しが見られましたものの、豚肉・鶏肉相場は総じて軟調に推移し、依然として厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努め、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」を基本方針とし、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」などの諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.5%増の1,030億80百万円、営業利益は同44.1%減の18億53百万円、経常利益は同44.8%減の18億66百万円、四半期純利益は、製品自主回収関連費用や投資有価証券評価損を計上したことなどもあり、同66.4%減の9億18百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

#### 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、主力ブランドの「燻製屋熟成ウインナー」が、2012年モンドセレクション食品部門において4度目の最高金賞を受賞したことから「秋をモンドで楽しもう！キャンペーン」などの販売促進に積極的に取り組んだほか、「上級あらびきグリルマイスター」「仮面ライダーウィザード フィッシュソーセージ」などの新商品を投入しました。また、中元ギフトにおきましても、主力商品である「王覇」「煌彩」シリーズを中心に積極的に拡販に努めましたが、競合他社との販売競争の激化などの影響により、当部門の売上高は、前年同期比2.1%の減収となりました。

調理・加工食品部門は、レトルトカレー商品が前年同期実績を大きく下回りましたが、韓国風チゲ「スンドゥブシリーズ」のほか、手軽に本格的な味が楽しめる「鶏肉でつくるカシミアールカレー」、大麦由来の植物性乳酸菌を使用した「S B L 88 からだにぜいたくヨーグルト」などの新商品の投入を積極的に努めたことなどにより、当部門の売上高は、前年同期比4.8%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比0.7%増の751億20百万円となりましたが、主力であるハム・ソーセージ部門の減収などから、営業利益は前年同期比42.3%減の18億2百万円となりました。

#### 食肉事業

牛肉につきましては、お客様の低価格志向を背景とした価格競争激化など厳しい環境が続いていますが、米国産牛肉の拡販を積極的に取り組みました結果、牛肉の売上高は増加しました。豚肉につきましては、供給量の増加から、相場が低調に推移するなど非常に厳しい状況が続きました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比7.7%増の277億62百万円となりましたが、営業利益は、食肉販売単価の下落による収益性の悪化などから47百万円の損失となりました。

#### その他事業

その他事業の売上高は前年同期比1.6%減の1億97百万円、営業利益は前年同期比11.9%増の97百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が11億4百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が12億23百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ97百万円増加し、1,244億55百万円となりました。

負債は、借入金及びリース債務が4億12百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が18億92百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ5億78百万円増加し、566億26百万円となりました。

純資産は、四半期純利益9億18百万円の計上などがありましたが、剰余金の配当金11億69百万円の支払いなどから、前連結会計年度末に比べ4億80百万円減少し、678億28百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、53.2%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末から11億4百万円減少(前年同四半期連結会計期間末と比べ25億93百万円減少)し、111億90百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権やたな卸資産の増加などによる減少要因がありましたが、仕入債務の増加や税金等調整前四半期純利益の計上などから、営業活動による資金は37億84百万円増加(前年同四半期連結累計期間と比べ14億37百万円減少)しました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、投資活動による資金は33億3百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ11億5百万円支出増加)しました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払や有利子負債の返済による支出などから、財務活動による資金は15億84百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ12億36百万円支出減少)しました。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、3億57百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	132,527,909	132,527,909	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部) フランクフルト証券取引所	単元株式数は、1,000株 であります。
計	132,527,909	132,527,909	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	132,527	-	6,716	-	21,685

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
丸大共栄会	大阪府高槻市緑町21番3号	8,866	6.69
公益財団法人小森記念財団	大阪府高槻市緑町21番3号 丸大食品株式会社内	5,250	3.96
特定有価証券信託 受託者ソシエテジェネラル信託銀行株式会社	東京都港区赤坂1丁目12番32号	4,915	3.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	4,580	3.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	4,484	3.38
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	4,438	3.35
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号	4,324	3.26
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地7丁目18番24号	4,301	3.25
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1丁目13番2号	3,213	2.42
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	388 GREENWICH STREET, NY, NY 10013, USA (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	3,070	2.32
計		47,442	35.80

(注) 1 公益財団法人小森記念財団は、当社創業社長故小森敏之氏の遺志により、主として当社株式を基本財産とし、その配当金等を奨学事業及び学術研究助成等に給付することを目的として設立された法人であります。

2 上記所有の株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

特定有価証券信託 受託者ソシエテジェネラル信託銀行株式会社	4,915千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,580千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,484千株

3 平成24年9月30日現在において所有株式数を確認できない大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

(1) 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社から、平成24年4月18日付(報告義務発生日平成24年4月13日)で、三井住友信託銀行株式会社、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、日興アセットマネジメント株式会社を共同保有者とする大量保有報告書(変更報告書)が提出されておりますが、当社として平成24年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」では考慮しておりません。

なお、当該大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	保有株券等の数(千株)	株券等保有割合(%)
三井住友信託銀行株式会社	8,499	6.41
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	179	0.14
日興アセットマネジメント株式会社	284	0.21
計	8,962	6.76

(2) 株式会社三菱UFJフィナンシャルグループから、平成24年5月9日付（報告義務発生日平成24年4月30日）で、株式会社三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJ投信株式会社を共同保有者とする大量保有報告書（変更報告書）が提出されておりますが、株式会社三菱東京UFJ銀行を除き、当社として平成24年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」では考慮しておりません。

なお、当該大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	保有株券等の数（千株）	株券等保有割合（％）
株式会社三菱東京UFJ銀行	781	0.59
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,411	4.08
三菱UFJ投信株式会社	435	0.33
計	6,627	5.00

## (7) 【議決権の状況】

### 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 2,622,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式 129,416,000	129,416	同上
単元未満株式	普通株式 489,909	-	同上
発行済株式総数	132,527,909	-	-
総株主の議決権	-	129,416	-

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式652株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

### 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) 丸大食品株式会社	大阪府高槻市緑町 21番3号	2,622,000	-	2,622,000	2.0
計	-	2,622,000	-	2,622,000	2.0

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条の第3項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,482	11,378
受取手形及び売掛金	2, 3 25,234	2, 3 26,457
商品及び製品	5,901	7,170
仕掛品	688	665
原材料及び貯蔵品	7,464	6,725
繰延税金資産	1,782	1,601
その他	844	1,521
貸倒引当金	60	62
流動資産合計	54,338	55,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,911	47,234
減価償却累計額	31,046	31,575
建物及び構築物（純額）	15,865	15,659
機械装置及び運搬具	44,746	47,558
減価償却累計額	35,775	36,729
機械装置及び運搬具（純額）	8,970	10,828
工具、器具及び備品	4,980	4,918
減価償却累計額	3,402	3,371
工具、器具及び備品（純額）	1,577	1,546
土地	19,052	18,950
リース資産	8,078	7,290
減価償却累計額	3,831	3,603
リース資産（純額）	4,246	3,686
建設仮勘定	1,385	686
有形固定資産合計	51,098	51,357
無形固定資産	1,928	1,755
投資その他の資産		
投資有価証券	9,323	8,269
関係会社株式	120	107
長期貸付金	178	195
繰延税金資産	60	257
その他	7,734	7,485
貸倒引当金	425	429
投資その他の資産合計	16,991	15,885
固定資産合計	70,018	68,997
資産合計	124,357	124,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,817	21,710
短期借入金	8,446	10,909
1年内返済予定の長期借入金	4,479	3,196
リース債務	1,076	911
未払金	6,627	6,115
未払法人税等	357	346
未払消費税等	352	249
賞与引当金	1,115	1,266
その他	1,835	1,978
流動負債合計	44,108	46,683
固定負債		
長期借入金	5,387	4,347
リース債務	3,272	2,885
繰延税金負債	1,884	1,302
退職給付引当金	854	855
その他	540	552
固定負債合計	11,939	9,943
負債合計	56,048	56,626
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	37,171	36,920
自己株式	697	698
株主資本合計	64,875	64,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001	1,674
繰延ヘッジ損益	17	7
為替換算調整勘定	114	91
その他の包括利益累計額合計	1,904	1,576
少数株主持分	1,529	1,628
純資産合計	68,309	67,828
負債純資産合計	124,357	124,455

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	100,596	103,080
売上原価	74,494	77,593
売上総利益	26,102	25,486
販売費及び一般管理費	22,787	23,633
営業利益	3,314	1,853
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	109	123
不動産賃貸料	87	91
その他	189	183
営業外収益合計	399	412
営業外費用		
支払利息	210	172
その他	122	226
営業外費用合計	332	399
経常利益	3,380	1,866
特別利益		
固定資産処分益	13	39
負ののれん発生益	19	-
投資有価証券売却益	-	1
特別利益合計	32	40
特別損失		
固定資産処分損	127	107
減損損失	74	107
製品自主回収関連費用	-	213
投資有価証券評価損	0	535
特別損失合計	203	963
税金等調整前四半期純利益	3,210	943
法人税、住民税及び事業税	424	298
法人税等調整額	197	390
法人税等合計	226	92
少数株主損益調整前四半期純利益	2,984	1,036
少数株主利益	249	118
四半期純利益	2,734	918

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,984	1,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	326
繰延ヘッジ損益	36	25
為替換算調整勘定	8	22
持分法適用会社に対する持分相当額	-	1
その他の包括利益合計	383	328
四半期包括利益	2,600	708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,350	589
少数株主に係る四半期包括利益	249	118

【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	51,196	52,711
売上原価	37,858	39,767
売上総利益	13,338	12,944
販売費及び一般管理費	11,756	12,205
営業利益	1,581	738
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	104	117
不動産賃貸料	43	47
その他	77	38
営業外収益合計	231	210
営業外費用		
支払利息	101	83
その他	49	90
営業外費用合計	151	174
経常利益	1,661	775
特別利益		
固定資産処分益	3	37
投資有価証券評価損戻入益	4	-
特別利益合計	7	37
特別損失		
固定資産処分損	85	70
減損損失	74	107
投資有価証券評価損	0	524
特別損失合計	160	702
税金等調整前四半期純利益	1,508	110
法人税、住民税及び事業税	204	5
法人税等調整額	267	482
法人税等合計	62	477
少数株主損益調整前四半期純利益	1,571	588
少数株主利益	139	47
四半期純利益	1,432	541

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,571	588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	54
繰延ヘッジ損益	31	8
為替換算調整勘定	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	-	9
その他の包括利益合計	214	36
四半期包括利益	1,356	624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,217	608
少数株主に係る四半期包括利益	139	16

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,210	943
減価償却費	2,888	2,825
減損損失	74	107
貸倒引当金の増減額（は減少）	14	6
退職給付引当金の増減額（は減少）	424	85
受取利息及び受取配当金	122	138
支払利息	210	172
投資有価証券売却損益（は益）	-	1
投資有価証券評価損益（は益）	0	535
固定資産処分損益（は益）	114	67
売上債権の増減額（は増加）	1,304	1,218
たな卸資産の増減額（は増加）	454	508
仕入債務の増減額（は減少）	1,397	1,892
未払消費税等の増減額（は減少）	61	102
その他	455	602
小計	5,997	4,064
利息及び配当金の受取額	148	168
利息の支払額	209	171
法人税等の支払額	714	277
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,222	3,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	15	22
投資有価証券の売却による収入	-	19
固定資産の取得による支出	2,132	3,385
固定資産の売却による収入	123	149
関係会社株式の取得による支出	130	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5	-
その他	49	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,198	3,303
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,863	2,460
長期借入れによる収入	500	224
長期借入金の返済による支出	3,471	2,547
リース債務の返済による支出	669	533
配当金の支払額	1,039	1,169
その他	4	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,821	1,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	202	1,104
現金及び現金同等物の期首残高	13,582	12,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,784	11,190



【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結会計期間より、連結子会社のうち四国フレッシュシステム株式会社及び三重フレッシュシステム株式会社は、清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
奥出雲ファーム(有) 21百万円	奥出雲ファーム(有) 12百万円

2 受取手形割引高

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形割引高 199百万円	245百万円

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形 21百万円	50百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
配送費	10,661百万円	10,717百万円
給与手当	4,299 "	4,464 "
賞与引当金繰入額	816 "	835 "
貸倒引当金繰入額	23 "	11 "
退職給付費用	365 "	412 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	13,821百万円	11,378百万円
預入期間が3か月超の定期預金	37 "	187 "
現金及び現金同等物	13,784百万円	11,190百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	1,039	8	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,169	9	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,616	25,779	100,396	200	100,596	-	100,596
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	597	597	597	-
計	74,616	25,779	100,396	798	101,194	597	100,596
セグメント利益	3,125	101	3,227	87	3,314	-	3,314

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては74百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、新たに取得した(有)紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である(株)熊野路の株式を追加取得しましたことから、負ののれん発生益(特別利益)を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては19百万円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	75,120	27,762	102,883	197	103,080	-	103,080
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	658	658	658	-
計	75,120	27,762	102,883	855	103,738	658	103,080
セグメント利益又は損失 ( )	1,802	47	1,755	97	1,853	-	1,853

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致して  
ております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第  
2四半期連結累計期間においては107百万円であります。

前第2四半期連結会計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,516	12,594	51,110	86	51,196	-	51,196
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	259	259	259	-
計	38,516	12,594	51,110	345	51,455	259	51,196
セグメント利益	1,484	64	1,549	32	1,581	-	1,581

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致し  
ております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第  
2四半期連結会計期間においては74百万円であります。

当第2四半期連結会計期間（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,779	13,827	52,606	104	52,711	-	52,711
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	266	266	266	-
計	38,779	13,827	52,606	371	52,978	266	52,711
セグメント利益又は損失 ( )	749	53	695	43	738	-	738

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致して  
ております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第  
2四半期連結会計期間においては107百万円であります。

(1株当たり情報)

第2四半期連結累計期間

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	21円05銭	7円07銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	2,734	918
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,734	918
普通株式の期中平均株式数(千株)	129,908	129,906

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2四半期連結会計期間

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円03銭	4円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,432	541
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,432	541
普通株式の期中平均株式数(千株)	129,908	129,906

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

丸大食品株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹 内 毅

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡 部 政 男

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 駿 河 一 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている丸大食品株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、丸大食品株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。